

第3回 学校評議員会議事録

I 日時 平成28年(2016年)2月26日(金)15:40～16:50

II 会場 南安曇農業高等学校 会議室

III 参加者 (敬称略)

【評議員6名】 同窓会長 鈴木 章文
元PTA会長 矢口 茂芳
安曇野市民生児童委員 坂内 りつ子
安曇野市相談員 山地 恵津子
「ばんどこ」社長 忠地 繁治
長野県建設業協会安曇野支部副支部長 小林 重徳

【学校評議員会運営委員10名】

学校長 西村 清利 教頭 田中 信明
事務長 内野 祐志 教務主任 続木 宏英
進路指導主事 武藤 穰 生徒指導主事 桜井 智成
生徒会指導主任 宮田 勝昭(代理 百瀬 亘)
農場主任 小池 晃
評議員係 横山 哲司 本田 耕一

IV 配布資料

次第、学校評価アンケート結果、平成27年度卒業生進路状況、卒業論文要旨集

V 次第

1 開会の言葉

2 学校長挨拶

昨年9月安曇野市と連携協定を結んだ。地域の担い手を育てていこうということで、市と連携し、この地域を農業だけでなく、いろいろな産業を担う人材を育てていこうと取り組んでいる。また、松本大学との高大連携協定を結んだ。6次産業化に向けた一つの取組みとして、専門教育をしている松本大学の力を借りてマーケティングを学習の中に位置付けていく。文部科学省の指定事業であるスーパープロフェッショナルハイスクール(SPH)に申請している。地域の人材、専業農家だけでなく地域で働きながら農業と関わりたいという兼業農家、この地域で農業を支える女性の人材育成を目指したい。できるところから挑戦し、学校が地域に期待される学校に代わっていくことが必要だと感じている。

3 議事

(1) 学校評価について

本校の学校目標は、「勉学・健康・品位の向上を図り、健康で教養豊かな科学的農業人を育てる。」。本年度の重点目標は、生徒指導面を第一に、学力向上、キャリア教育の充実、開かれた学校づくりについて目標を立てた。この目標に対する達成状況のアンケートを生徒および保護者からとり、5段階で評価した。1つ目の生徒指導・生徒支援「いじめのない学校づくり」については3.5。2つ目の学習指導「学力の向上」については3.6。3つ目のキャリア教育・進路指導「キャリア教育の充実」については3.2。キャリア教育については3.2。4つ目の地域連携「開かれた学校づくり」は3.4という評価になった。

① 農場

安曇野市との連携協定の中で、昨年12月には東京の板橋区大山商店街でマーケティング調査を含めた販売実習に参加した。南農ブランドの商品が全く売れないことを子どもたちは初めて体験した。資格取得では、2級土木施工管理技術者試験(学科)に13名が合格。危険物取扱者についても朝の7時45分から8時30分まで朝学習をスタートさせ、合格者の増加という成果につながっている。

② 進路

今年の特徴は50名を超える就職希望者。就職は、生徒の努力、地域の皆様の力を借りながら、順調に決まった。進学は、四年制大学は17名。国立大学は2名。公務員試験に2名合格。

③ 生徒指導

生活指導として挙げることが2つ。1つ目は交通事故。本校では7件。そのうち5件が自転車と車の接触事故。交通安全教室、ホームルームへの呼びかけを徹底していきたい。2つ目は、ネット関係。ネットに関する指導が7件。情報モラル教育に力を入れていく。

④ 生徒会

文化祭は、来年度7月第2週の開催を予定している。現在来年度の文化祭に向けたタイムスケジュール、スタッフ割り等に取り組んでいる。12月に役員改選が行われ、生徒会の方向性を議論している。

(2) 学校評議員より

① 長野県建設業協会安曇野支部

2級土木施工管理技術者試験が13人合格。昨年に比べて合格者が増えて良かった。長野県建設業協会の援助が実ったのではないかと感じている。長野県建設業協会安曇野支部で、型枠製作、鉄筋結束、建設現場での視察などに協力したが、来年度も引き続き協力していきたい。

② 「ばんどこ」社長

本校の取組みも素晴らしいが、全国には同じように晴らしい学校があるということを知り、農業高校は地域を元気にするというのを改めて感じた。

③ 安曇野市相談員

文化祭では、早くから列を作って加工品を購入しようとする地域の方々がいることを知り、びっくりした。生徒が自分たちで文化祭をやっているという姿勢が伝わってきた。松本大学や安曇野市との連携もこれからどのように広げていくか課題。子どもたちが、それに対して自分たちの意見を持って、意見を言えるというのが大事だと思う。

④ 安曇野市民生児童委員

文化祭に参加したが、加工品販売では、長蛇の列になっておりびっくりした。先日はサイネリアの販売に来た子どもの大きな声が聞こえてきた。新聞の記事を読み、地元の高校生が頑張っていると感じた。

⑤ 元PTA会長

文化祭については、これからもっと盛り上げてほしい。国立大学を狙えるような学習環境を整えてほしい。東京のアンテナショップでの経験は貴重な体験ができたのではないと思う。しかしもっとプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を高めてほしい。

<回答>学力の向上については、春休みから基礎学力向上に向けた取り組みをスタートした。

⑥ 同窓会会長

学校評価の結果から、学校の取組み、先生方の努力は評価できるのではないと思う。資格取得については、合格への支援が成果にあらわれている。東京のアンテナショップでの販売実習は継続して欲しい。どんなものを販売したか、教えていただきたい。

<回答>販売物は、加工品（ジャム各種、柿酢）、シクラメン、米2kgなど販売。

(3) 質疑 意見交換

① アグリマイスター顕彰制度とは何か。

<回答>

主催団体は全国農業高等学校長協会。子どもたちの学習成果が一般社会に認められるような制度を作ろうと今年度スタート。

アグリマイスター顕彰制度は、資格取得など、どのくらい学んだかというものを点数化して表彰するもの。全国で580名応募した中で、本校の生徒が57名該当。その中で優秀な成績であるプラチナという生徒が2名おり、1名は全国で12番に入った。本校は、全国で最も多くの生徒が表彰されたということで、学校特別表彰を受賞した。

(4) まとめ（学校長）

今年度、学習指導という部分ではA評価でしたが、いろいろな部分で基礎学力をつけていかなければいけないと感じている。いろいろな改革をしながら子どもたちの力をつけていきたい。それがキャリア教育につながり、進路実現につながれば、入学してよかったと思えるようになるのではないと思う。そのために学校として材料を揃えながら、道筋をつけていきたい。本日はありがとうございました。